

## 目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（12月12日～12月18日掲載分）
  - ・報道発表
- 2 現場レポート
  - ・「海の子育成プロジェクト」(来て・見て・学ぼう海事産業！)  
～次世代人材育成の『海事教室』を開催しました～
  - ・離島航路補助対象航路監査で奮闘中
- 3 職場から
  - ・バイクが好きな人、この指と～まれ。(第二弾)
- 4 九州運輸局の動き
- 5 イベント情報

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報  
(12月12日～12月18日掲載分)

### ----- 報道発表 -----

「日韓クルーズ・定期旅客船活性化フォーラム」の開催について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-1213-kaishin.pdf>

## 2 現場レポート

「海の子育成プロジェクト」(来て・見て・学ぼう海事産業！)  
～次世代人材育成の『海事教室』を開催しました～

11月11日、大分運輸支局では、大分県由布市立阿南小学校の児童32名を対象に「海事教室(海の子育成プロジェクト)」を開催しました。

これは、次世代を担う児童たちに、海事産業に対する興味・関心を持ってもらうため、(独)航海訓練所や(公社)九州海事広報協会をはじめ、多くの方に支援を頂き、次世代人材育成推進事業の一環として開催したものです。

まず、海上貿易の実態を学習してもらうため、港湾物流の結節点である大分港の大在コンテナターミナルで、船舶へのコンテナ積み込み等を行う「港湾荷役(こうわんにやく)」作業の見学です。

児童たちは、接岸中のコンテナ船や大きなガントリークレーンに興味津々の様子で、「20フィート型コンテナ」の説明では、その中に入り、大きさや頑丈な構造に驚いていました。

次に、別府港に寄港中の練習船銀河丸で「シップスクール」に参加です。船内では、レーダーの仕組みや海図の見方等について船員から教わり、船橋、無

線室、食堂、機関室等を見学しました。

また、元外航船船長から「海と船のお話」があり、世界の海でどのような船が航海し、どのような貨物を運んでいるか等を、分かり易く話していただきました。

見学中、児童たちは皆、真剣に説明に聞き入っていましたが、移動のバス内での休憩タイムでは非常に無邪気で、微笑ましい光景も見られました。

今回の教室で見られた児童たちの素直な質問や眼の輝きに、海事産業に興味を持ち、理解を深めてもらう事ができたと感じました。

日本は、四面を海に囲まれた海洋国であり貿易立国です。日本の未来のためには次世代を担う子供たちに「海の大切さ」を伝える事、優秀な海事人材の確保・育成、船員技術の伝承をする事等が喫緊の課題となっています。

大分運輸支局では、今後も積極的に次世代人材育成推進事業に取り組んで参ります。

当日の様子は、次のURLからご覧いただけます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_244\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_244_1.pdf)

#### 【大分運輸支局】

---

#### 離島航路補助対象航路監査で奮闘中

九州には110を超える有人離島があり、そこには約35万人もの人々が暮らしています。こうした離島住民の離島と本土間を結ぶ離島航路が、九州運輸局管内には、全国の30%を占める約90もの航路があります。

しかし、離島航路運営を取り巻く環境は、住民の島外流出による過疎化や少子高齢化などを背景とした利用者数の減少、原油価格の高騰による経費の増大などにより経営が圧迫され、非常に厳しい状況となっています。

離島航路のうち、その他船舶以外には交通機関がない地点間又は船舶以外の交通機関によることが著しく不便である地点間を連絡する航路であること等の一定の基準を満たす航路に対し、離島航路整備法により国が運営費の補助を行うこととなっています。

当局管内には、この補助対象航路が47航路あります。これら各補助対象航路の一年間の航路の運航実績及び経理（航路損益）の状況について、適正に処理されているかを当課職員が手分けをして毎年11月から1月までの間に監査を実施しています。

この時期の担当者は、過密なスケジュールの中、通常業務を抱えつつも、監査の準備や資料のチェックを行って監査を実施、監査終了後は報告書の作成等に追われ、次の監査の準備に入り・・・日によっては深夜まで残業することも。

ある者は電卓をたたきながら書類とにらめっこ、ある者はパソコンのキーボード

をたたきながら頭を抱え、またある者は書類の山に埋もれ……。中には、指が腱鞘炎になった職員も。

それでも、少しでも早く、正確に航路損益を確定し、補助対象航路事業者へ運営費補助が行われるようにとの思いから、職員一同、今日も頑張っています。

#### 【海事振興部旅客課】

### 3 職場から

バイクが好きな人、この指と～まれ。(第二弾)

メールマガジン第241号で紹介された「九州運輸局ツーリング倶楽部」程ではありませんが、長崎運輸支局でも若手職員を中心にバイク好きが集まり、長崎の観光地をバイクで訪れ、良いところを発見し、情報発信していこうと、活動しています。

昨今流行の「おもてなし」の原点は、「まず、自らが居住する地域のことを深く知ることから」と考え、12月1日、20代から50代の5名で、諫早市から島原城を左手に見ながら「道の駅みずなし本陣ふかえ」を經由、口之津、小浜温泉を巡るというビギナーズコースで島原半島を一周してきました。

バイク好きは「峠」が好きというのが定説?で、島原にも「仁田峠」という爽快なライディングスポットがありますが、5年振り、25年振り、しかもレンタルバイクでの参加者もいたため、安全確保上無難なコースを選択しました。

島原半島には雲仙普賢岳があり、平成2年の噴火後、火砕流などで大きな被害を受けましたが、噴火活動も収まり、平成21年8月には世界遺産の地質版ともいわれる「世界ジオパーク」に認定され、人と火山が共生しながら復興へ向けて頑張っています。また、島原城や原城址といった島原の乱の史跡など、歴史的な素材も豊富です。

今回のコースの一番のお薦めは、小浜マリパークの「日本一長い足湯」と、無料で使える「蒸し釜」です。物産展のお店やお土産店も隣接し、地元の新鮮な魚貝類などの食材が揃っていて、蒸し釜で食べると冷え切った体がホカホカ。今回は温泉卵だけでしたが、次は牡蠣、あわび、さざえ、などにも挑戦したいですね。

他にも小浜ちゃんぽん、島原の具雑煮など、美味しい食べ物もたくさんあり、小浜・雲仙・島原と温泉も豊富です。

私たちは、これからも地域再発見の走り続け、自然と歴史で満ち溢れている長崎の「おもてなし度」を日々高めていきたいと思っています。

隠れスポットがあれば是非、情報提供をお願いします。

(裏話)

25年振りの者は、教習所に行って、取り回しや、S字、クランクなどの練習をしたそうで、その成果か、一度もエンスト、立ちゴケ、転倒のアクシデントはあ

りませんでした。やはり、事前の準備と自分の技量に見合った運転が大事ですね。

当日の様子は、下記URLからご覧頂けます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_244\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_244_2.pdf)

小浜温泉の観光情報は、次のURL（「小浜温泉観光協会」HP）からどうぞ。

<http://obama.or.jp/>

【長崎 おもてなし がんばらんば隊】

#### 4 九州運輸局の動き

年末年始輸送等安全総点検（再掲）

日時：12月10日（火）～1月10日（金）

場所：九州運輸局管内各地

概要：陸上・海上の各輸送機関等について、安全管理・安全対策等の実施状況、関係法令等の遵守状況、施設等の点検整備状況、テロ対策及び新型インフルエンザ等対策の実施状況等を点検します。詳細は次のURLからどうぞ。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-1125-anzen.pdf>

担当：総務部

#### 5 イベント情報

クリスマスバルーンIN 古湯

日時：12月21日（土）～22日（日）

場所：佐賀県佐賀市 富士運動広場

概要：幻想的な夜間係留が観覧できるほか、気球教室なども同時開催。今年は、世界で初めてバルーンにプロジェクションマッピングが投影されます。

べっぴんクリスマスHanabiファンタジア

日時：12月23日（月）～24日（火）

場所：大分県別府市 別府スパビーチ

概要：クリスマスソングにあわせて冬の夜空に打ち上げられる1万発の色鮮やかな花火がクリスマスを盛り上げます。工夫を凝らした創作花火による夜空の巨大アートが見ものです。

いぶすきナイトバザールin Xmas

日時：12月24日（火）

場所：鹿児島県指宿市 JR指宿駅前

概要：指宿特産の「そらまめ」料理の無料配布や、オーストラリアワインの試飲会、パネル展示コーナーなど、多彩なイベントが催されます。

//////// 編集部より //

世の中には、“グルメ”な方がたくさんいます。

私は、食べ物にそれほどこだわっていないながら、時に彼らと論争になることがあります。

“ 焼きうどん ” VS “ 焼きそば ” の時は、かたや地域の B 級グルメを代表して、こなた幼少の頃からの竹馬の友の一品を代表して、ケンケンガクガク、五月蠅いこと。

お互いに意地で突っ張り合いますが、呆れている周囲からの水入りもないので、最後には細かいところをあげつらう、子供の喧嘩の如くなります。

“ チークパン ” VS “ 夏限定クリームパン ” の時も水入りならぬ水掛け論で、やっぱり土俵は割りませんでした。

そう言えば、どちらの論敵も、今は遠い空の下で巡業中です。彼らの気に入る “ ちゃんこ ” いや “ 郷土料理 ” があればいいんですがねー・・・ハッハッハッ。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: [mm-kyushu@gst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@gst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192